

支那大より

Newsletter No.43

広報委員会

(社)日本道路建設業協会中部支部

〒460-0003

名古屋市中区三丁目10番14号

協和錦ビル内

TEL.052-971-5310



謹賀
新年



目次

支部長新年挨拶 01

幹事長新年挨拶 01

中部地方整備局長新年挨拶 02

道路建設技術講習会 03

舗装施工管理者技術講習会・アスファルト舗装技術講習会 04

技術委員会 建設技術フェア 05

安全委員会 国交省・中日本高速道路(株)パトロール 06

AED贈呈式 08

中部緊急防災隊 防災式典・班長会議 09

防災訓練 10

台風12号災害支援活動報告 10

会員だより 11

東日本大震災視察 12

アスファルト混合物事前審査制度・事務所移転・編集後記 13

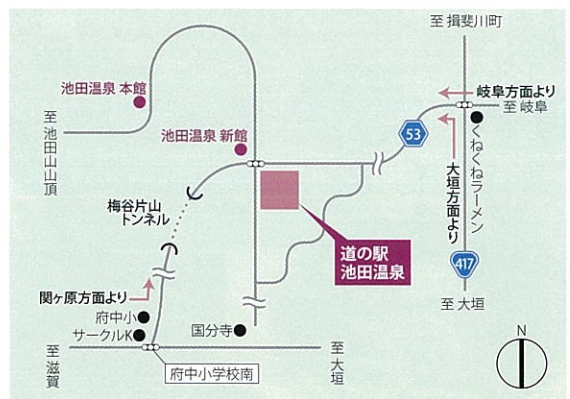
道路開通

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
岐阜関ヶ原線
池田温泉

路線名	岐阜関ヶ原線
営業時間	10:00～18:00
駐車台数	小型154台、大型13台、 身障者専用3台、妊婦子供連れ1台
休館日	毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/30～1/1)

ここがポイント!
温泉の魅力に加えて、新鮮野菜や特産品などのショッピング、足湯が楽しめます。



駅長からのメッセージ

平成23年7月、池田町内外からご利用いただいている池田温泉の隣に、「道の駅 池田温泉」が開駅。道の駅内に、木質を活かした構造で全面ガラス張りのテナントを地域振興施設として整備しました。テナントには、足湯を整備しました。駐車場から御岳山や岐阜金華山が眺められるなど展望も良好ですので、旅のひとつにご利用ください。

新年挨拶

新年にあたり皆様お変わりございませんか。

昨年は、東日本大震災という大惨事が発生し大きな被害が東北地方を中心に襲ったことは記憶に新しいことと思います。道建協にとっても、「アスファルト混合物の事前審査制度の継承」、「舗装施工管理技術者試験の実施」という新たな業務が加わり一年間を通して、休みのない運営となりました。我々を取り巻く環境は、「コンクリートから人へ」に始まりインフラ整備を置き去りにした厳しい環境が今も続いています。厳しい厳しいと言ったところで何も変わることがありません。

ウサギから龍へと変わる新しい年においては、同じ所を飛び回っていただけでは環境は良くなりません。関係業界、監督官庁、得意先を巻き込んだトルネードを起こし、天空に向かって明るく前向きに昇っていくではありませんか。「ネバーギブアップ」を合い言葉に参加企業会社がお互いに切磋琢磨し、「日本の道路は自分たちが造り守っていく」という目標を持ち一年間また進んでいこうではありませんか。

道建協中部支部の構成会社、そしてそこに従事しておられる従業員皆様のご支援の下で今年も年間計画を立て一つ一つ実行して参ります。よろしくお祈りします。

結びに構成会社様のご繁栄と協会員全員のご多幸をご祈念申し上げます。ご安全に!

支部長

岩田 裕美

株式会社NIPPO 中部支店
執行役員支店長



新年明けましておめでとう御座います。

旧年中は日本道路建設業協会支部会員の皆様には、当支部の活動に対しまして、多大なご支援とご協力を賜り、心より厚く感謝申し上げます。

昨年は1月26日の新燃岳の噴火で年が明け、3月11日には未曾有の東日本大震災、また当地方では12・15号台風の襲来が有り、災害の多い年でありました。当協会といたしましても、中部緊急防災隊として、震災、台風災害に対し、会員皆様のご協力を得て、救援活動の一助を担えたことも忘れてはなりません。今年こそ災害の無い穏やかな年となりますよう切に願うところであります。さて東北地方の復興に向けた具体的な議論も行われているところでありますが、当中部地方でも話題に上っている東海・東南海・南海地震等大災害の備えとして、ミッシングリンクの早期解消が求められています。特に新東名・新名神、紀勢、東海環状、三遠南信などの早期開通が待たれるところであります。このことは道路に携わる我々にとって、今まで悪とされてきた「インフラ整備」が根本から見直され、真に必要なインフラ整備の必要性が国民皆様の間で再認識され、社会資本整備の一翼を担うものにとって、非常な追い風になることは間違いありません。また最近TPPの話題も盛んに行われており、グローバル化に対応した、真に足腰の強い業界への脱皮が望まれる年になると思います。

その為にも会員各社のたゆまない努力が必要になると思われれます。今年こそは干支の昇竜(辰)にあやかり、良い一年であることを年初に願うばかりであります。

結びに、当協会各社が一体となり、しっかりスクラムを組んで、今後望まれる社会資本整備に少しでも貢献していきたいと思ひます。協会会員皆様方の御健勝と、会員各社の御隆盛を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

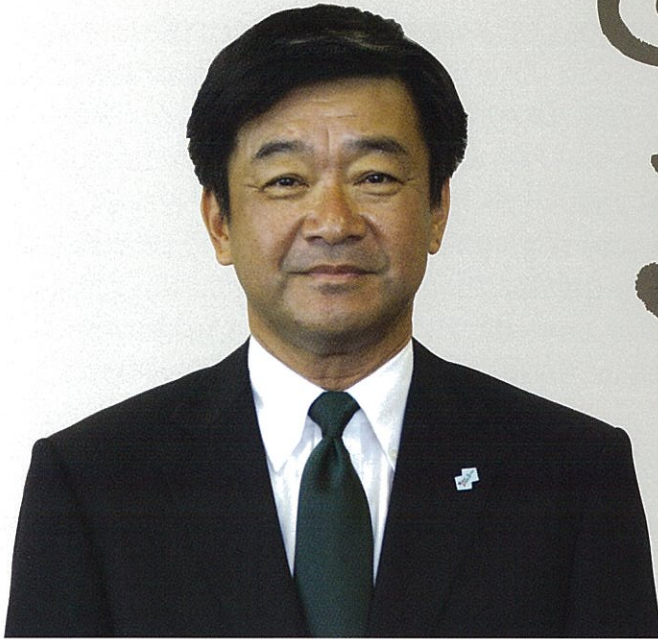
幹事長

川端 清太

鹿島道路株式会社 中部支店
常務執行役員支店長



新春を 迎える



国土交通省
中部地方整備局長
足立 敏之

平成24年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、3・11の東日本大震災で未曾有の大災害に直面し、台風12・15号では、中部地方にも甚大な災害がもたらされました。中部地方整備局ではいち早く職員や災害対策機器材等を被災現場に派遣し支援を行ってまいりました。

皆様方にも「中部緊急防災隊」として復旧支援等にご尽力をいただき心から感謝を申し上げます。特に、東日本大震災においては、災害復旧のための啓開道路の確保として「くしの歯作戦」を展開して緊急輸送路の迅速な確保が注目を集め、国民から信頼性の高い道路ネットワーク整備の重要性や災害時の建設業界の必要性などが改めて認識されることとなりました。

中部地方整備局では、平成24年度の重点事項の一つに「国民生活の安全・安心の確保」を掲げております。これは、今後発生が懸念されている東海・東南海・南海地震や、甚大な被害をもたらした台風12・15号のような豪雨災害等に対応するため、ハード・ソフト両面の対策を組合せた災害への対応力の高い社会基盤を構築するなど国民生活の安全・安心の確保に取り組む方針であります。

一方では、老朽化する道路施設の急増等により、道路の保全・維持管理が大変重要になっており、橋梁等の道路構造物はもとより舗装を含めた道路施設を長寿命化する工夫が必要であると考えております。昨年の「建設技術フェア2011in中部」で、皆様からこれらに関する新技術等の出展が多数ありましたが、中部地方整備局でも新技術の活用、新設アスファルト舗装の長期保証制度の原則化、コンクリート舗装の積極的活用などに取り組むこととしています。

国民の期待に応えるべく、社会資本の整備や保全を確実に実施していくためには、関係者全員が力を合わせて知恵を出し合っていくことが重要であり、重ねて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、日本道路建設業協会中部支部並びに会員の皆様にとりまして、希望に満ちた大いなる発展の年になりますことを心より祈念して年頭のご挨拶といたします。



平成23年度 道路建設技術講演会



平成23年度道路建設技術講演会を(社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(社)日本道路協会・(社)日本建設業連合会中部支部・(社)中部建設協会・(社)名古屋建設業協会・中部緊急防災協会の共催をいただき11月9日に名古屋市東文化小劇場で開催しました。会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に280人の参加者で会場は満席でした。岩田支部長の開会の挨拶につき、講演会にはいりました。

京都大学大学院工学研究科 藤井聡教授の講演テーマは「公共事業が地域を救う」。発生が予想されている首都直下型や東海・東南海など巨大地震に備えた「列島強靱化」の必要性や、積極的な公共投資がデフレ解消につながることを分かりやすく説いた。また環太平洋経済連携協定(TPP)の問題にも言及しました。

中部地方整備局 佐々木一英企画部長は「建設事業をめぐる最近の話題」をテーマにし、東日本大震災を踏まえた中部地方の防災対策、台風12・15号による被災への対応、12年度概算要求、建設生産システムなどについて話されました。参加者は熱心に講演に聞き入っていました、実りのある講演会になったと思います。



舗装施工管理者技術講習会

日本道路建設業協会による平成23年度 舗装施工管理技術者の技術講習会が9月15日、名古屋市天白区の名城大学・天白キャンパスに於いて、240名余の参加で行われました。

講習会は、舗装施工管理技術者資格の登録更新者が主な対象で、最新の舗装技術の習得と技術向上を図ることを目的とし、8月から9月にかけて全国9か所で開催されました。

名古屋会場での講習に先駆け、道路建設業協会中部支部の瀧上彰恭技術委員長により「中部地方における舗装事業の現状」として、当地区で進む高規格道路の整備状況の

報告をされると共に、「日々進歩高度化して行く舗装技術に遅れをとることなく最新の技術を習得しなければならない。まさに今日がその場だ」と参加者に呼び掛けられました。



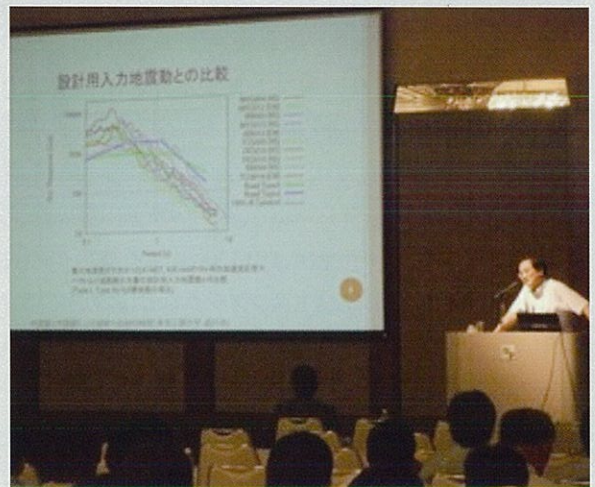
アスファルト舗装技術講習会を開催 道建協、アスファルト合材協会

アスファルト舗装技術に関する講習会が8月29日、名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスホテルで開催された。この講習会は日本道路建設業協会中部支部(岩田裕美支部長)と愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)の共催で、当日は会員企業各社から約150人が出席した。

冒頭、あいさつで愛知県アスファルト合材協会の内藤秀樹技術管理委員会担当理事(中部土木(株)会長)が「震災復興への取り組みなど建設業は必要とされている。建設産業の技術の高さを証明するためにも講習会を有意義なものとし、技術の研鑽に努めていただきたい」と呼び掛けた。

講習会では、愛知工業大学工学部都市環境学科客員教授の金井道夫さん、国土交通省中部地方整備局道路部道路情報管理官の渥美智康さん、アスファルト混合物事前審査事務局の幸田正裕さん、日本アスファルト合材協会技術

部会の貫井武さんが講師となり、社会資本整備の課題、東日本大震災を踏まえた中部地方の社会資本整備などについて説明した。＝写真＝



技術委員会

建設技術フェア2011 in中部

今年で15回目となる「建設技術フェア2011 in中部」が10月26日と27日の2日間、中部地方整備局中部技術事務所構内特設会場で道路、河川など10分野107の新技术、新工法を展示のほか、東日本大震災関連のパネル展示、又出展技術プレゼンテーション、講演会などが行われました。テーマは、「豊かで安全なくらしと環境の調和をめざして」今回も公共発注機関、建設企業の関係者、建設系学科を専攻する学生や高校生ら約5000人が、建設先端技術に触れようと会場を訪れました。

開会式では、主催者を代表して中部地方整備局の足立敏之局長があいさつに立ち「東日本大震災や台風など多く

の災害に見舞われたが、支援活動ではみなさんに協力していただいた。また、信頼できる道路ネットワーク整備の必要性など、災害から多くの教訓も得た。安心・安全を守るためのインフラ整備を進めていかねばならないが、社会資本の老朽化などさまざまな課題があり、英知を集め解決していかなければいけない。今回の建設技術フェアが大きな役割を果たす場となしてほしい」とあいさつ。また出展者を代表し古厩孝日本建設業連合会中部支部長は「震災などで建設技術の重要性が再認識された。中部地区でも地震・津波対策が求められており、産学官の技術が積極的に導入されることを望む」と述べられました。

そのほか、技術フェアに継続出展している企業団体への感謝状贈呈として20企業に実行委員長を務める佐々木一英 中部地方整備局企画部長より贈られました。



安全委員会

パトロール報告

安全委員会では静岡国道事務所管内において、発注者と合同で行う直轄道路工事の夏季合同安全パトロールを平成23年9月7日(水)に行いましたので結果を報告します。

1. パトロール箇所

中部地方整備局 静岡国道事務所管内

- ・平成22年度 1号 静岡昭府地区舗装工事 中部土木(株)
- ・平成22年度 1号 藤枝岡部仮宿地区舗装工事 (株)NIPPO
- ・平成22年度 1号 藤枝岡部高田地区舗装工事 大成ロテック(株)

2. パトロール出席者

中部地方整備局

道路部

道路工事課 長谷川 哲也

静岡国道事務所

副 所 長 藤永 稔

工物品質管理官 飛岡 力弥

建設監督官 鈴木 和喜

静岡国道出張所

技術係長 大柳豆 倫行

(社)日本道路建設業協会中部支部

- | | |
|-------------------|------------------|
| 安全委員長 (株)ガイアートT・K | 執行役員支店長 民部 順一 |
| 安全委員 フジタ道路(株) | 執行役員支店長 日比野 雄司 |
| 〃 常盤工業(株) | 執行役員支店長 佐々木 清 |
| 〃 福田道路(株) | 執行役員支店長 戸田 恒夫 |
| 〃 東京舗装工業(株) | 支店長 伊藤 元信 |
| 〃 戸田道路(株) | 支店長 粟田 吉典 |
| 〃 (株)ガイアートT・K | 品質環境安全全部部長 遠藤 孝也 |
| 〃 フジタ道路(株) | 支店長代理 上田 正二 |
| 広報委員長 (株)佐藤渡辺 | 執行役員支店長 藤井 尚之 |

3. 重点目標

本年度、直轄道路工事の安全パトロールを行うに当って、以下に示す項目を重点目標として行いました。

- (ア) 安全意識の高揚
- (イ) 交通誘導員の配置
- (ウ) 作業機械の誘導



パトロール報告

平成23年度下半期に入り、安全委員会では、東名高速道路集中工事の安全パトロールを、発注者であるネクスコ中日本様と合同で実施いたしました。豊田JCTから美合PA付近まで2車線から3車線にし、渋滞緩和を目的に厳しい工程の中、施行されていました。

東名高速道路10月18日(火)の実施結果を報告します。

1.パトロール箇所

東名高速道路

豊田保全サービスセンター管内

岡崎地区(上り線)舗装改良工事 大林道路(株)

豊田保全サービスセンター管内

岡崎地区(下り線)舗装改良工事 大林道路(株)

2.パトロール参加者

中日本高速道路株式会社

名古屋支社 保全サービス事業部 木曾 保全T担当L

豊田保全サービスセンター 高橋企画担当課長

広瀬工事担当課長

(社)日本道路建設業協会中部支部

安全副委員長 前田道路(株) 執行役員支店長 緑川 英二

安全委員 (株)市川工務店 技術顧問 小林 功和

〃 (株)竹中道路 支店長 坂井 桂

〃 三井住建道路(株) 支店長 赤塚 秀一

〃 大有建設(株) 取締役建設事業本部長 瀬藤 茂樹

〃 中部土木(株) 執行役員営業本部道路担当部長 谷口 光八郎

〃 (株)ガイアートT・K 品質環境安全部担当部長 遠藤 孝也

3.重点点検項目

今回の安全パトロールは、以下の項目を重点点検項目として行いました。

- (1) KYの実施状況とミーティングシールの添付(一般事項)
- (2) 開口部の出入り誘導について(規制班)
- (3) 作業機械のバック時の誘導(作業班)

4.パトロール結果

パトロール後の検討会において、推奨できる良い点、要望事項、指摘事項が、あげられました。

各請負業者においては、即時に、是正措置が実施されました。



道建協の社会・環境貢献活動

AED贈呈式

道建協で2007年に策定した〔社会・環境貢献活動指針〕に基づいて、本年度も道の駅にAED贈呈をおこなうことになりました。

今年は(社)中部建設協会の支援をいただき、贈呈場所は静岡県内の浜松市天竜区の道の駅『くま水車の里』と『いっぷく処横川』に決定し、今年は夏休み前に設置を目標にしまして8月12日に当支部の藤井広報委員長、菊地事

務局長、他2名と共に道の駅の関係者出席のなか贈呈式を行いました。その中でAEDの機器説明と取扱いのデモン

ストレーションを参加者全員で行い無事終了しました。

今回で4回目ですが、来年の長野県で道建協中部支部の管内を一巡いたします。今後もこの活動を継続していき地域貢献の一助になればとおもいます。



 くま水車の里



 いっぷく処横川



中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

日本道路建設業協会中部支部の会員を中心として、中部五県の道路事業社有志で結成する中部緊急防災隊(岩田裕美本部長)は、7月27日、名古屋市名東区のサンプラザシーズンズに於いて160人の参加の下、当年度の防災式典を行い午前中には、各地区の代表者と事務局の参加により、班長会議を開催しました。

隊旗の入場につき、岩田本部長の訓示では「いかなる災害に対しても、これまで培ってきた経験を生かして対処していく。会員各位は今まで以上に緊急連絡体制の強化、資機材の確保により一層の充実を図り、迅速、的確な行動を期待する」と述べました。また、来賓あいさつでは、国土交通省中部地方整備局の鈴木学道路部道路調査官が、東日本大震災では、緊急輸送路の確保が重要な役割を果たしたことに触れ、「中部緊急防災隊が地区ごとに配置され、迅速に活動する体制を整えていることは、行政機関としても心強く思っている。いつ起こるか分からない災害に日頃から備え、いざという時は速やかな支援と協力をお願いします。」と一層の体制強化を求められました。続いて、渡邊忠泰日本道路建設業協会 環境安全労働委員長は「中部緊急防災隊は、発足30年を超える歴史ある組織で、他の支部では例の無い独自で、貴重な組織と聞いている。東日本大震災では、被災地へ、自ら所有する給水タンクを直後に届ける等素早い対応をした」と称賛されました。



防災訓練



中部緊急防災隊の平成23年度防災訓練が9月1日に行われた。

長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5地区と中日本高速道路(株)彦根保全SCを加えて行われた。

道建協中部支部に本部を設置し、岩田本部長以下25名の役員・委員で手分けして午前9時に始められた。

各地区に対し給水用の水タンクの保管場所の確認と点検と清掃をFAXにて指示をする。

また彦根保全SCでは、管内の名神高速で地震による通行止めが発生し、作業員と重機の出動要請が出される想定で訓練が進められた。10時半までに作業終了の報告が入り、11時40分に解散宣言を出して終了した。

台風12号災害支援報告

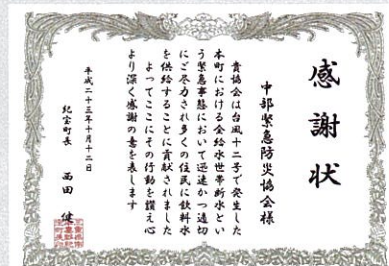
8月25日に発生した台風12号は大型で動きが遅かったため長時間にわたり台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、紀伊半島での総降水量は広い範囲で1,000mmを超えました。9月3日三重県と和歌山県の境を流れる熊野川が氾濫し甚大なる被害をもたらし、避難者は紀宝町だけでも約千人にのぼりました。特に紀宝町の相野谷(おのだに)川下流域の鮎田地区では全世帯の実に77.1%が、全半壊を含めた浸水被害に遭い、ライフラインはズタズタになり町域のほとんどが断水しました。

9月7日、中部緊急防災隊は、紀宝町からの水害支援要請を受けた中部地方整備局災害対策本部・渡邊防災対策官より給水タンク(東日本大震災にも出動)8基を紀宝町へ届けるよう出動要請を受けました。翌9月8日に本部より指示を受けた我が名古屋西班は、4tユニック車2台で給水

タンク8基を運搬する準備(清掃・積込・タンク架台)に取り掛かり、翌9月9日 06:00に紀宝町へ向け出発しました。11:00に待合せ場所・道の駅(紀宝町ウミガメ公園)で環境衛生課の林課長と合流し、8箇所の避難所に設置するよう指示を受けました。設置場所への道は瓦礫の山や流木が散乱しておりまた道路の一部崩落などもあり、とても一般車両ではいけそうも無いところです。タンク設置には長時間掛かり終了は日も暮れそうな17:00で、名古屋に着いたのは20:00でしたが、設置後に住民の方からお礼の言葉を聞き苦勞も吹き飛んでいました。

10月12日には機材の引き上げと、西田町長よりの野村対策委員長に感謝状が伝授されました。

今回出動に際し協力を戴いた各担当者の方々にはこの場を借りましてお礼申し上げます。



会員だより

我が故郷の温泉宿

今回の投稿依頼を受け、私の故郷を紹介したいと思います。生まれ故郷は、京都府の伊根町と云う海沿いの田舎町です。読者の皆様にはピンとこない地域かと思いますが、1993年に、NHK朝の連続テレビで放送されました、戸田菜穂主演の「ええによぼ」で舞台となり、海に面した舟屋が有名となった地区であります。それ以後は、観光客も増え伊根湾めぐりや「舟屋の郷公園」道の駅もオープン、また温泉も掘り当て、温泉旅館が出来る活気ある故郷になっています。

これから紹介したい温泉宿は、『丹後奥伊根温泉油屋』です。この旅館の料理コンセプトは日本海の新鮮魚介にこだわった季節料理です。おすすめは11月から3月で、日本



(株)昭建 中部支店
支店長 澤田 三郎



海の冬の味覚と言えばカニ料理が一番、きっと満足して頂けると思います。その他、フグ・ブリしゃぶ・魚会席のコースがありますので、その時々のお気分に合わせ選択してみてください。また、この温泉旅館は本館と別館があり、源泉も2箇所それぞれ泉質も異なっています。本館は手頃な価格で家族や友人数名で利用されるのが良いかと思います。一方財布に多少の余裕がある方、また二人でゆっくりの時間を過ごしたい方は、別館の和亭(なごみてい)がお勧めです。和亭は、大浴場はもとより各室露天風呂付になっており、癒される事まちがいない旅館です。天橋立からも近く景観も素晴らしい故郷です、ぜひ時間を作って行ってみたいはどうでしょうか。



マスターズ甲子園

「マスターズ甲子園」ってご存知ですか？これは全国の高校野球OB/OGが、性別、世代、元プロ・アマチュア等のキャリアの壁を超えて出身校別に同窓会チームを結成し、再度『甲子園球場』を目指そうとするものです。県代表になれば12月に開催される甲子園大会に参加できます。岐阜県では4年前からOB大会が始まりました。当初は参加校が4校でしたが今年は8校が大会に参加しています。私も開始当初から母校の県立岐阜商業高校のメンバーとして参加させていただいています。

4年前、15年ぶりに母校のユニフォームに袖を通しましたが「GIFUSHO」の文字が入ったユニフォーム・「G」マークの帽子は昔と変わらず気が引き締まります。チームメイトは60歳の大先輩から20歳の後輩までたくさんいます。世代・キャリアの壁がないということで中日ドラゴンズ次期監督の高木守道さんや次期2軍コーチの前原博之(中日・西武)の大先輩たちと同じグラウンドにたちプレーしています。恩師が監督として指揮をとり、そんなチームの一

員としてプレーできるのはとても楽しく新鮮です。今年は11月26日に準決勝・決勝が行われ、見事に優勝することができました。

この大会のおかげで母校の先輩後輩、他校で出場している会社の先輩後輩、顧客先の方とも交流ができて楽しい時間を過ごすことができます。今後も体力が続く限り出場しようと思っています。

大会概要は「マスターズ甲子園」で検索していただければ閲覧できます。



(株)市川工務店
営業部営業課 高井 公洋



がんばろう!東北

東日本大震災視察 (23.8.4~5)

我々一人一人は、平成23年3月11日(金)の午後2時46分は何をしていたでしょう。平和に暮らしていた街や家族が一瞬のうち、未曾有の災害に繋がるとは誰も予想はしていなかったでしょう。

昨年の12月に発表された漢字「絆」は、東日本大震災で、家族や仲間の尊い命を失うことや、まだ連絡が取れず不安な日々を過ごした体験は、あらためて家族・友達・恋人・地域の人々との「絆」の大切さを知ったことと思います。

さて、大震災から147日が過ぎた日の8月4日から5日の日程で、中部緊急防災協会(防災隊)の総勢19名で名取市、塩竈市、東松島市、石巻市、相馬市、南相馬市を視察しました。新聞やテレビでの報道は、日々新しい情報が耳や

目に入ってくるが、現地の重苦しい空気や立体的な映像は伝わってこない感じがする。この視察で見るもの全てが、地震・津波の恐ろしさが心に痛烈にのしかかっています。

視察おのおのから出た声は、「こりゃ!すごい」や「なんで、ここまで津波来たんだ。」など、今でも脳裡に残っています。視察を終えて、ここ東海地方も今後起きるであろうと予想される「東海・東南海・南海地震」に向けて2011年の漢字「絆」を忘れず暮らして行こうではありませんか。



アスファルト混合物事前審査制度

道路保全技術センターの解散により、アスファルト混合物事前審査制度について、国交省中部地方整備局より当協会が審査事務局に指定されました。

発注者、施工者及びアスファルト混合物製造業者の、業務の合理化、省力化並びにアスファルト混合物の安定した品質の確保を目的に、厳正且つ公正、公平な審査となるよう審査のお手伝いをしていきます。



事務所移転

● 福田道路株式会社 中部支店 ●

平成23年9月より

新住所/〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目23番8号
フレーヌ丸の内ビル4F
Tel.052-971-4600

住所変更

● フジタ道路株式会社 名古屋支店 ●

平成24年1月4日より

旧住所/〒480-1144
愛知県愛知郡長久手町熊田306

新住所/〒480-1144
愛知県長久手市熊田306

編集後記

昨年は近年にない大震災に見舞われ、日本の復興力が注目された年でした。中部地区からも多くの支援物資や人的支援が行われ、当支部からは中部緊急防災協会を通じて給水タンク支援を行いました。まだまだ復興には時間がかかることですが、希望をもってぜひ早期の復旧を遂げてほしいです。国内を取り巻く環境もTPPやヨーロッパの経済不安など予断を許さ

ない状況が今後も続くことと思われます。建設業にも少なからず影響が予想されますが、過去の幾度かの試練にも乗り越えてきた経験を活かし生活基幹産業として自負をもって前進していきましょう。

最後に、今年が皆様にとってより良き年となりますよう祈念しております。

(安井)

連絡先 (社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで
●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375
●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

●平成23年11月19日(土)
名古屋高速道路 高速4号線

木場 から 東海JCT



▲船見出入口付近



- 今回開通区間
- 延長: 5.3km
- 車線数: 片側2車線
- 規制速度: 60km/時

開通!



東海JCT付近▶



社団法人
日本道路建設業協会中部支部